

【新入生オリエンテーション説明資料】

工学部専門教育ガイダンス (編入学生)

2026年度

学務部 教務課 教務(工学)担当

【重要な配布物】

↓ 学生便覧



学生便覧は卒業まで必ず保管すること！

↓ 授業時間割表

授業時間割表

2026年度
前期

期限厳守

Web履修科目登録期間	4月7日(火)9:00 ~ 4月8日(水)18:00 (UNIVERSAL PASSPORT履修登録)から各自で登録)
履修科目登録確認・修正期間	4月17日(金) ~ 4月20日(月)17:00 (申請方法は、UNIVERSAL PASSPORT掲示)から通知)
履修取り消し期間	4月21日(火) ~ 4月27日(月)17:00 (申請方法は、UNIVERSAL PASSPORT掲示)から通知)

注意！紙媒体の時間割配付は入学時のみです。1年次後期以降は、各自でUNIVERSAL PASSPORTからPDFデータを確保してください。

他学部科目・他学科科目・他コース科目は、UNIVERSAL PASSPORTの「履修登録」からは申請できません。
詳細については、別途UNIVERSAL PASSPORTの「掲示」から通知しますので、確認してください。

福井大学工学部

これらの資料は4/3の新入生オリエンテーションの際に配布します。

【学生便覧】

↓ 福井大学学則(P52)

(2) 福井大学学則		平成16年4月1日 福井大学 第1号
目次		
第1章 総則	工学部	看護学科
第1節 目的及び使命(第1条)		機械・システム工学科
第2節 組織(第2条～第11条)		電気電子情報工学科
第3節 職員(第12条～第12条の2)		建築・都市環境工学科
第4節 組織の長(第13条～第19条の2)		物質・生命化学科
第5節 教授会等(第20条～第21条)		応用物理学科
第6節 自己評価及び教育研究の状況の公表等(第22条～第23条)		国際地域学部 国際地域学科
第2章 学部課程	2	2
第1節 学年、学期及び休業日(第24条～第26条)		2
第2節 修業年限及び学期限(第27条～第29条)		2
第3節 入学(第30条～第38条)		2
第4節 教育課程、履修方法、単位の授与等(第39条～第52条の2)		2
第5節 卒業及び学位の授与等(第53条～第56条)		2
第6節 休学、留学、転学、転部、退学及び除籍(第57条～第62条)		2
第7節 賞罰(第63条～第64条)		2
第8節 検定料、入学料、授業料及び宿料(第65条～第73条)		2
第9節 研究生、科生等修業生、特別聴講生及び特別の課程(第74条～第77条)		2
第10節 外国人留学生(第78条)		2
附則		
第1章 総則		
第1節 目的及び使命		
(目的及び使命)		
第1条 福井大学(以下「本学」という。)は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が豊かに暮らすための科学技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献する人材の育成と、個性的かつ地域の特色に富んだ教育科学研究、先端科学研究及び医学研究を行い、専門医療を践することを目的とする。		
第2節 組織		
(学部、学科及び課程)		
第2条 本学は、次の学部、学科及び課程を置く。 教育学部 学校教育課程 医学部 医学科		

↓ 福井大学工学部規程(P123)

(2) 福井大学工学部規程		平成16年4月1日 福井大学 規程第1号
(略)		
第1条 この規程は、福井大学学則(平成16年福井大学 規程第1号。以下「学則」という。)第41条第2項に基づき福井大学工学部(以下「本学部」という。)の授業科目、単位、履修方法その他必要な事項を定める。		
第1条の2 学則第2条第3項に規定する、工学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、別に定める。 (教育課程)		
第2条 本学部学生の履修すべき科目は、共通教育科目及び専門教育科目とする。 (共通教育科目)		
第3条 共通教育科目の単位及び履修方法等については、福井大学共通教育規程(以下「共通教育履修規程」という。)の定めるところによる。		
2 前項の共通教育科目とは、入門科目、基礎教育科目及び共通教育科目をいう。 (専門教育科目)		
第4条 各科目の専門教育科目の最低修得単位数は、単位数とする。		
2 専門教育科目の授業科目及び単位数は、別に定める。		
3 授業は、講義、演習、実験及び実習によるものとする。		
4 専門教育科目の履修等については、次条以下に定めるところによる。 (履修方法)		
第5条 専門教育科目の履修方法は、別に定める。		
2 演習、実験、実習及び実習については、当該学科所属の学生を優先して取り扱う。		
第6条 学生は、履修しようとする科目について、毎学期初定期限内に、履修登録をしなければならない。 (履修登録)		
2 他学科の科目の履修登録は、制限を受けることがある。		
(試験の種類)		
第7条 試験を分けて、学科試験及び卒業研究の審査とする。		
(学科試験)		
第8条 学生は、第6条により承認を得た科目に限り学科試験を受けることが認められる。ただし、授業時数の3分の1以上を欠席した者は、試験を受ける		
ことができない。		
2 学科試験の成績審査は、各学期末に行う定期試験の結果と平常の学習状況によって行う。ただし、演習、実験、実習及び実習の科目は、定期試験を省略することができる。		
3 試験を受けて不合格となった科目を再履修せずに、次年度の学期末に再試験を受けようとする者は、所定の期日までに、担当教員への承認を得て再試験の申請をしなければならない。		
4 学生がその他を有しない事柄により正味の試験を受けられなかったため、追試験を受けようとする者は、その事由が発生したときから2週間以内はその理由を付し担当教員及び助言教員の承認を得て追試験を申請し、工学部及び大学院工学研究科教務学生委員会の審査を受けなければならない。 (卒業研究の審査)		
第9条 卒業研究は、所属学科の定める期日までにその報告を提出したもとの上について審査し、合格の判定を行う。		
2 前項の審査を受けようとする者は、卒業研究の題目及び計画概要を所属学科の定める期日までに当該学科に申し出て担当教員の指導を受けなければならない。		
3 卒業研究に着手しようとする者は、3年次修了時に当該学科所定の共通教育科目及び専門教育科目の単位を修得しておくなければならない。		
(履修の評価)		
第10条 学則第4条第2項に規定する履修評価は学科試験及びその他の審査により評価し、秀、優、良、可及び不可の5段階でこれを表示する。		
2 前項の成績評価は、福井大学における成績評価基準等に関する規程の定めるところにより行う。		
3 再試験による科目の成績は、可及び不可の2段階で評価し、ただし、特に良の評価をすることがある。 (単位の特例)		
第11条 成績評価が秀、優、良及び可の科目は、規定の単位を修得したものとし、不可の科目は、修得しないものとする。		
2 授業科目の単位を分別して修得することはできない。		
3 卒業研究の審査に合格した者は、当該学科所定の卒業研究の単位を修得したものとす。		

福井大学、および工学部での基本となる規則です。
お時間のある時に一読しておいてください。

【学生便覧】工学部履修規程について

どの科目をどれだけ取ればいいのか？

学科毎に指定のページを開いてください。

- ▼機械・システム工学科 P127～131
Mechanical and System Engineering(**MS**)
- ▼電気電子情報工学科 P132～135
Electrical, Electronic and Computer Engineering(**EI**)
- ▼建築・都市環境工学科 P136～139
Architecture and Civil Engineering(**AC**)
- ▼物質・生命化学科 P140～142
Materials Science and Biotechnology(**MB**)
- ▼応用物理学科 P143～145
Applied Physics(**AP**)

※アルファベット2文字は各学科の略称です。

課程表の見方①(機械・システム工学科を例に)

- ①授業科目には
 ・共通教育科目と
 ・専門教育科目がある。

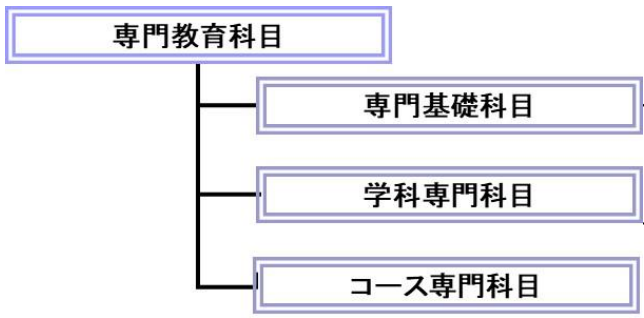
機械・システム工学科 専門教育課程表

区分	科目名	単位数						毎週授業時間数 (配当年次)								備考		
		機械工学 コース		ロボティクス コース		原子力安全 工学コース		1年		2年		3年		4年				
		必	選	必	選	必	選	前	後	前	後	前	後	前	後			
		修	択	修	択	修	択											
	大学教育入門セミナー	2		2		2												
共通教育科目	基礎教育																	
	(第1)外国語科目(英語)	6		6		6												
	情報処理基礎科目	2		2		2												
	基礎教育科目小計	8		8		8												
	共通教育																	
	地域コア科目履修	6		6		6												
	教養教育科目履修	8		8		8												
	自由選択履修	4		4		4												
	共通教養科目小計	18		18		18												
	共通教育科目小計	28		28		28												
専門教育科目	専門基礎科目																	
	微分積分Ⅰ	2		2		2												
	線形代数Ⅰ	2		2		2												
	物理学A(力学)	2		2		2												
	微分積分Ⅱ	2		2		2												
	線形代数Ⅱ	2		2		2				2								
	コンピュータ入門	2		2		2			2									
	コンピュータ演習		1		1	1				2								
	物理学実験		2		2	2			4									
	応用数学A(微分方程式)	2		2		2				2								
	応用数学B(フーリエ解析)	2		2		2				2								
	応用数学C(ベクトル解析)		2		2	2				2								
	物理学B(電磁気学)	2		2		2				2								
	物理学D(熱・波・光)		2		2	2				2								
	応用数学D(複素関数論)		2		2	2					2							
	応用数学E(確率・統計)	2		2		2					2							
	応用電磁気学		2	2		2				2								
	工業日本語Ⅰ		2		2	2	2											留学生対象科目
工業日本語Ⅱ		2		2	2	2		2									留学生対象科目	
工業日本語Ⅲ		2		2	2	2			2								留学生対象科目	
工業日本語Ⅳ		2		2	2	2				2							留学生対象科目	

共通教育科目については
 オリエンテーションWEBページ掲載の
 動画で詳しく説明されています。
 履修登録システムの使い方
 なども詳しく説明されていますので、
 共通教育科目が全て単位認定されて
 いる場合でも、必ず視聴してください。
 この資料では専門教育科目について
 説明しています。

課程表の見方②(機械・システム工学科を例に)

②専門教育科目の中にも区分がある。



※物質・生命化学科と 応用物理学科には
コース専門科目の区分なし

▼履修をする際、
自分の受ける授業科目が
どこに属するか確認すること。

専門教育科目	専門基礎科目	応用数学C(ベクトル解析)	2	2	2	2	2														
		物理学B(電磁気学)	2	2	2	2	2	2													
		物理学D(熱・波・光)	2	2	2	2	2	2													
		応用数学D(複素関数論)	2	2	2	2	2	2													
		応用数学E(確率・統計)	2	2	2	2	2	2													
		応用電磁気学	2	2	2	2	2	2													
		工業日本語Ⅰ	2	2	2	2	2	2													
		工業日本語Ⅱ	2	2	2	2	2	2													
		工業日本語Ⅲ	2	2	2	2	2	2													
		工業日本語Ⅳ	2	2	2	2	2	2													
学科専門科目	機械・システム工学科概論Ⅱ	2	2	2	2	2	2														
	解析力学	2	2	2	2	2	2														
	機械材料Ⅰ	2	2	2	2	2	2														
	電気工学概論	2	2	2	2	2	2														
	計測工学基礎	2	2	2	2	2	2														
	製図基礎	2	2	2	2	2	2														
	材料科学概論	2	2	2	2	2	2														
	生物システム入門	2	2	2	2	2	2														
	計算機システム	2	2	2	2	2	2														
	材料力学Ⅰ	2	2	2	2	2	2														
コース専門科目	加工学Ⅱ	2	2	2	2	2	2														
	メカトロニクス	2	2	2	2	2	2														
	機械工学実験	1	1	1	1	1	1														
	機械要素設計Ⅱ	2	2	2	2	2	2														
	トライボロジー	2	2	2	2	2	2														
	内燃機関工学	2	2	2	2	2	2														
	生産システム工学	2	2	2	2	2	2														
	機械工学コース科目小計	5	12	5	5	5	5														
	ロボット工学基礎実験Ⅰ	1	1	1	1	1	1														
	応用電気電子回路	2	2	2	2	2	2														
	デジタル回路	2	2	2	2	2	2														
	ロボットプログラムⅠ	2	2	2	2	2	2														
	生物とロボット	2	2	2	2	2	2														
	機械雑論	2	2	2	2	2	2														
	ロボット工学基礎実験Ⅱ	1	1	1	1	1	1														
ロボットプログラムⅡ	2	2	2	2	2	2															
グラフィクスと認知	2	2	2	2	2	2															
人工知能論	2	2	2	2	2	2															
ものづくりを支える科学	2	2	2	2	2	2															
ロボ	2	2	2	2	2	2															

課程表の見方③(機械・システム工学科を例に)

③各科目の”単位数”

④各科目の開講時期と1週間当たりの授業時間数。
 ・各学年の『前』は前期(4~9月)、『後』は後期(10~3月)に開講される。
 ・数字は、1週間あたりの授業時間数。
 『2』の場合は、週当たり1コマ90分の授業を表す。(別途事前事後学習が必要です。)

機械・システム工学科 専門教育課程表

区分	科目名	単位数						毎週授業時間数 (配当年次)								備考		
		機械工学コース		ロボティクスコース		原子力安全工学コース		1年		2年		3年		4年				
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後			
専門教育科目 専門基礎科目	微分積分Ⅰ	2		2		2		2										教職課程 コース 工業
	線形代数Ⅰ	2		2		2		2										
	物理学A(力学)	2		2		2		2										
	微分積分Ⅱ	2		2		2		2										
	線形代数Ⅱ	2		2		2		2										
	コンピュータ入門	2		2		2		2										
	コンピュータ演習			1		1		1		2								
	物理学実験			2		2		2		4								
	応用数学A(微分方程式)	2		2		2		2										
	応用数学B(フーリエ解析)	2		2		2		2										
	応用数学C(ベクトル解析)			2		2		2										
	物理学B(電磁気学)	2		2		2		2										
	物理学D(熱・波・光)			2		2		2										
	応用数学D(線形代数)			2		2		2										
	応用数学E(確率・統計)	2		2		2		2										
	応用電磁気学			2		2		2										
	工業日本語Ⅰ			2		2		2	2									
工業日本語Ⅱ			2		2		2		2									
工業日本語Ⅲ			2		2		2			2								
工業日本語Ⅳ			2		2		2				2							
学際実験・実習Ⅰ			1		1		1				3							

⑦教員免許を取得する際に必要な科目。

⑤各科目には必修、選択必修(MS学科以外)、選択という区分がある。
 ・必修科目 ⇒ **必ず履修しなければならない科目**
 ・選択科目 ⇒ 各自が選んで履修する科目
 (MS学科以外は選択科目の中でも、選択必修、選択に分かれる)

⑥『工業日本語Ⅰ~Ⅳ』は留学生しか受講できない。

(例) 『応用数学E(確率・統計)』 ⇒ 機械工学コースとロボティクスコースは必修、原子力安全工学コースは選択科目で2単位の科目
 2年生の後期に1コマ90分で開講される。

卒業要件, 卒業研究着手要件を満たす単位について

- 学科毎に指定のページを確認してください。

機械・システム工学科

… P130~131

電気電子情報工学科

… P134~135

建築・都市環境工学科

… P138~139

物質・生命化学科

… P142

応用物理学科

… P145

機械・システム工学科卒業要件, 卒業研究着手要件を満たす単位の条件

1. 卒業要件	
コース	卒業要件
機械工学 コース	共通教育科目: 卒業に必要な28単位 専門教育科目: 以下の①~⑤の条件を満たして96単位以上 ① 卒業研究8単位 ② 必修63単位(卒業研究8単位を除く) ③ 選択25単位以上 ④ 所属するコース以外の自学科開講科目は10単位まで③に含めることができる。 ⑤ 所属する学科以外の工学部他学科開講科目(専門基礎科目以外)は次の条件の下で10単位まで③に含めることができる。 ・自学科の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同名の科目は1科目のみであること 上記の条件を満たすよう合計124単位以上を修得する。
ロボティクス コース	共通教育科目: 卒業に必要な28単位 専門教育科目: 以下の①~⑥の条件を満たして96単位以上 ① 卒業研究8単位 ② 必修40単位(卒業研究8単位を除く) ③ コース専門科目の選択を12単位 ④ ③以外の選択をあわせて36単位以上 ⑤ 所属するコース以外の自学科開講科目は10単位まで④に含めることができる。 ⑥ 所属する学科以外の工学部他学科開講科目(専門基礎科目以外)は次の条件の下で10単位まで④に含めることができる。 ・自学科の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同名の科目は1科目のみであること 上記の条件を満たすよう合計124単位以上を修得する。
原子力安全工学 コース	共通教育科目: 卒業に必要な28単位 専門教育科目: 以下の①~⑤の条件を満たして96単位以上 ① 卒業研究8単位 ② 必修63単位(卒業研究8単位を除く) ③ 選択25単位以上 ④ 所属するコース以外の自学科開講科目は10単位まで③に含めることができる。 ⑤ 所属する学科以外の工学部他学科開講科目(専門基礎科目以外)は次の条件の下で10単位まで③に含めることができる。 ・自学科の専門教育課程表にないこと ・担当教員の承認を得ること ・同名の科目は1科目のみであること 上記の条件を満たすよう合計124単位以上を修得する。

【学生便覧】卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位について

■「1. 卒業要件」について

(全学科共通)

124単位以上

→ 共通教育科目 28単位 + 専門教育科目 96単位

専門教育科目96単位の内訳は学科・コースにより異なる。
※自分の学科・コースの要件を熟読すること！

ただし、まず満たさなければいけない要件は…(次のスライド)

【学生便覧】卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位について

■「2. 卒業研究着手要件」について

卒業研究(卒業前の1年間要実施)を始めることができる条件

3年終了時に判定（編入生の場合、編入学1年後）

→要件を満たしていないと卒業研究を始めることができない

→2年間で卒業ができない。

自分の学科の着手要件を熟読し、把握しておくこと！
まずはこの「卒研着手要件」と照らし合わせ、
自身の認定単位を要把握。

次のスライドで以降で説明する方法で自分の状況を把握しましょう。

卒業要件、卒業研究着手要件を満たす単位について

▼単位修得状況確認表を活用してください！

「単位修得状況確認表」とは・・・

- ▼ 自身の単位修得状況を入力すると、卒業研究着手要件及び卒業要件を満たしているかを自動で判定できるエクセルファイルです。
- ▼ 共通や専門、コースなどの科目区分について、不足単位数や未修得科目名が表示されるので、内容を確認し、次学期の履修登録の際に活用することができます。
- ▼ 「単位修得状況確認表」は、UNIVERSAL PASSPORTから各自でダウンロードして使用します。
(次のスライド参照)

・共通教育科目の認定状況は、4/3にお知らせします。
 ・専門教育科目については、4/3の教務課ガイダンス等より後に実施される「学科別履修指導・懇談」時に、認定単位(見込み)が教員より示される予定です。
 その内容をもとに、単位修得状況確認表エクセルを入力し、今年度どの単位を積み重ねる必要があるかを必ず確認してください。

【卒業研究着手要件】

要件	判定
① 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち2単位以上 (※注)	○
② 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
③ 必須単位の履修状況 (※注)	○
④ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑤ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑥ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑦ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑧ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑨ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑩ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑪ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑫ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑬ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑭ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑮ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑯ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑰ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑱ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑲ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
⑳ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉑ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉒ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉓ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉔ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉕ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉖ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉗ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉘ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉙ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉚ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉛ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉜ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉝ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉞ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㉟ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊱ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊲ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊳ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊴ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊵ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊶ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊷ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊸ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊹ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊺ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊻ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊼ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊽ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊾ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○
㊿ 卒業研究着手要件に必要となる単位のうち1単位以上 (※注)	○

単位修得状況確認表のダウンロードについて

●ダウンロード方法:

「UNIVERSAL PASSPORT」→「News Hub」の「単位修得状況確認表」をクリックし、自分の学科の単位修得状況確認表をダウンロードしてください。パスワードも下図のように、画面上で示されています。

クリックする

共通 ▾ 時間割 成績照会 Q&A登録 外部アプリケーション ▾ News Hub ▾ マニュアル ▾

重要	期限あり
掲示	2026/01/14 【重要!!工学部全学
日表示	月表示 履修授業

大学共通	共通教育	教育学部	工学部・工学研究科	国際地域学部
休退学等の手続き	2025年度後期時間割	教務関連案内(学生用)	単位修得状況確認表(パスワード「kougaku」)	学修成果可視化サイト
福井大学学生行動規範	履修方法(履修例・必要単位数等)	学修成果可視化サイト	学修成果可視化サイト	単位修得状況確認表(2020,2021年度入学生)
建物・講義室配置図	2025前期集中講義のお知らせ	工学研究科・POS様式1	工学研究科・POS様式2	単位修得状況確認表(2022年度入学生)
成績評価基準		工学研究科・POS form1	工学研究科・POS form2	単位修得状況確認表(2023年度以降入学生)
キャンパス便				
課外活動・施設予約				

終日

マイスケジュール追加

単位修得状況確認表の詳細な使い方等については、各学科の指示に従ってください。
また、結果の見方がわからない時には、入力したエクセルを示せるPC持参で教務課まで来てください。

Webシラバスについて

シラバスとは:各授業の担当教員や授業内容、授業形式、成績評価の方法等が明記されたもの

「福井大学 シラバス」と検索
!!

授業の科目名や担当教員の名前を入力して
検索ボタンをクリック。

学生個人の時間割

履修登録後、自身の時間割に表示
される「アイコン(右図参照)」をク
リックすることで、シラバスを見る
ことができます。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			数理・データサイエンス入門 松本 智恵子 共用_情報処理演習室 B3174 2.0単位	計算機システム 小高 知宏 工_131L G1127 2.0単位	
トライボロジー 本田 知記 工_231M G1320 2.0単位	くらしの中の電子機器とVR 川岸 昌之 工_221M B3200 2.0単位			応用電磁気学 松田 俊也 共用_K310 G1213 2.0単位	
材料科学総論 庄司 英一 服L組合大? G1124 2.0単位				フロンランナー 米沢 晋 工_132L G0021 2.0単位	

教員の連絡先もこちらから確認できます。

授業を受ける前に、必ずシラバスで授業内容を確認すること!!

学科試験について

学生便覧 P123 第8条

■ 学期末に行う定期試験について

- 授業の3分の1以上を欠席した者は、試験を受けることができない。
※「3分の1欠席して良い」わけではないので注意してください。
- 講義…15回 5回以上の欠席の場合、試験は受けられない。

定期試験は、通常の授業時間とは異なる時間帯・教室で行う場合があります。
詳細は試験期間前にUNIVERSAL PASSPORTより「試験時間割表」を開示しますので、必ずお知らせを確認してください。

<参考>

■ 「追試験」制度

病気その他やむを得ない事情により正規の試験を受けられない場合、試験を受ける制度。
2週間以内に授業担当教員と助言教員の承認を得て追試験願を教務課へ提出する。

■ 「再試験」制度

試験を受けて不合格となった科目を再履修せず、次年度の学期末に試験のみ受ける制度。
履修登録期間に別途申請をしなければいけない。

成績評価について

学生便覧 P76

福井大学における成績評価基準等に関する規程より抜粋

(成績評価基準)

第3条 成績評価基準は、次の各号に定めるとおりとし、評価(評語)が秀, 優, 良, 可, A+, A, A-, B+, B, B-, C+, C, C-, D+, D及びD-を合格, 不可及びFを不合格とする。

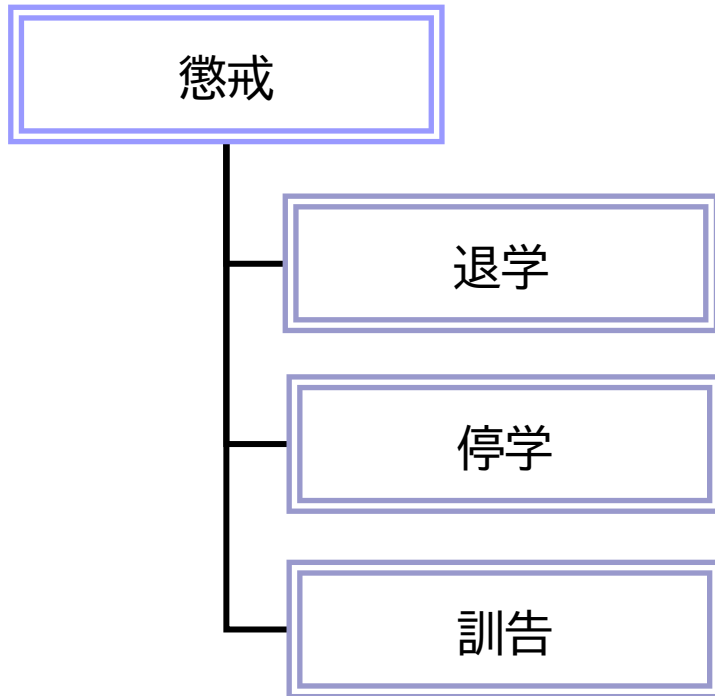
(1) 5段階評価の場合

評価 (評語)	GP	評価基準	評価点
秀	4	目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をあげている。	100点～90点
優	3	目標を十分に達成している。	89点～80点
良	2	目標を概ね達成している。	79点～70点
可	1	目標を最低限達成している。	69点～60点
不可	0	目標を達成していない。	59点～0点

GPA(グレード・ポイント・アベラージ:成績を数値化したもの)についても記載されていますのでご一読ください。

懲戒処分について

学生便覧P59 第64条



第64条に該当する場合・・・処分される。

不正行為(カンニング・盗作等)

をした場合・・・

試験中のスマホ閲覧、
レポートのコピペ等も
該当します。

**懲戒処分の他、
同時期に修得した単位
が無効となります
す!!!**

学生便覧P158 参照

(10)試験時の不正行為に係る単位の取扱いに関する申合せ を熟読ください。

▼各学期の履修単位数の制限に関する取り扱いについて

各学期に履修することのできる共通教育科目及び専門教育科目の単位数(学生便覧P158)

1年次の各学期 30単位以内
2~4年次の各学期 24単位以内

【注意】

- ・集中講義や再試験科目は含まない。
 - ・2年生以上について,累積GPAが2.50以上の場合、4単位まで上限を超えて履修できる。
 - ・その他、やむを得ない事情があると学科長が認めた場合は、上限を超えて履修できる。
- ※わからないときは、教務課まで問い合わせてください。

(参考)▼各年次における標準的な修得単位数について(学生便覧P158)

各年次において年間に修得すべき標準的な単位数は、次のとおりとする。

(単位:単位)

学 科	コース	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
機械・システム工学科	機械工学コース	46	44	25	10	124以上
	ロボティクスコース	41	42	32※1	10	124以上
	原子力安全工学コース	44	42	28	10	124以上
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	43	37	32	12	124以上
	電気通信システム工学コース			32	12	124以上
	情報工学コース			36※2	8	124以上
建築・都市環境工学科	建築学コース	49	38	29	8	124以上
	都市環境工学コース		41	26	8	124以上
物質・生命化学科	全コース共通	42	40	36	9	124以上
応用物理学科	—	45	43	28	8	124以上

※1 114単位から2年次までの累積修得単位数を減じた数まで減じることができる。

※2 116単位から2年次までの累積修得単位数を減じた数まで減じることができる。

▼教育職員免許について

- 所定の単位を修得→理科又は工業の高等学校教諭免許状を取得可能。

【工業免許】

- 機械・システム工学科
- 電気電子情報工学科
- 建築・都市環境工学科

【理科免許】

- 物質・生命化学科
- 応用物理学科

編入学生が教員免許取得を目指す場合には、4/3のオリエンの日に申し出てください！

学生便覧P146～P150「教育職員免許取得方法」を参照

▼父母等への成績公開について

- 対象：工学部全学科，全学年（留学生を除く）
- 公開時期：前期分・・・10月上旬頃
後期分・・・ 4月上旬頃

特別な事情があり公開を控えてほしい場合は，教務課教務(工学)担当まで申し出てください。

授業時間割表について

授業時間割表		2026年度 前期
留意点		
Web履修科目登録期間	4月7日(火)9:00 ~ 4月8日(水)18:00 (UNIVERSAL PASSPORT履修登録のみで登録)	
履修科目登録確認・修正期間	4月17日(金) ~ 4月20日(月)17:00 (申請方法は、UNIVERSAL PASSPORTから通知)	
履修取り消し期間	4月21日(火) ~ 4月27日(月)17:00 (申請方法は、UNIVERSAL PASSPORTから通知)	

※1 2学期の科目選択は入学後のみです。1年次履修計画は、各月でUNIVERSAL PASSPORTからPDFダウンロードください。

他学期科目・他学科科目・他コース科目は、UNIVERSAL PASSPORTの「履修登録」から検索などで見込み、詳細については、別途UNIVERSAL PASSPORTから案内いたしますので、ご確認ください。

福井大学工学部

← 授業時間割表

毎学期
必読！

- P2~4:履修登録の方法やスケジュール **<要確認>**
- P5:クラス分け情報 (対象者は別途確認してください)
- P6:ステップアップ関係 (編入生は対象外)
- P7:授業実施方法・遠隔授業について **<要確認>**
- P8:ふくい地域創生士
- P9~16:各学科毎の時間割 **<自学科の部分を要確認>**
- P17:教務課の連絡先
- 最終ページ:授業日程 **<要確認>**

履修登録について

- 授業を受けるためには、必ず「履修登録」を行います。

【共通教育】

Web履修登録期間	4月3日(金)-6日(月)
履修登録の確認日	4月8日(水)
登録・修正/取消期間	4月9日(木)-15日(水)
履修追加登録日	4月16日(木) (共通教育科目のみ)

【専門教育科目】

Web履修登録期間	4月7日(火)-8日(水)
履修登録の確認日	4月9日(木)
追加登録・修正期間	4月17日(金)-20日(月)
取消のみ可能期間	4月21日(火)-27日(月)

- ・履修登録は、①共通教育 ②専門教育科目を、**前期・後期** ともにそれぞれ必ず行うこと。
- ・すべて**期限厳守!** インターネットに繋がっているPCならどこからでも登録可能です。

※ UNIVERSAL PASSPORTの詳細な使用方法については、共通教育科目の履修登録説明の動画を
確認してください。

履修登録についての補足説明

▼「他学科開講科目履修申請」について

他学科科目の履修を希望する場合には、UNIVERSAL PASSPORTから通知する申請方法に従って申請してください。(時間割上、自学科必修の微分積分、線形代数、応用数学の履修が困難な場合はここで申請)

▼「他学部開講科目履修申請」について

他学部開講科目(「観光学」)の履修を希望する場合には、UNIVERSAL PASSPORTから通知する申請方法に従って申請してください。

※他学部開講科目は、「経営・技術革新工学コース(副専攻)」の対象科目です。ただし、卒業要件には含まれませんのでご注意ください。

▼「学際実験・実習Ⅰ,Ⅱ」(水曜5-6限)について

履修希望の学生は、時間割表9ページ目”全学科共通”の欄外注釈を確認し、申請の手続きを行ってください。

▼「基礎物理実験(建築・都市環境工学科)」

「基礎物理実験(物質・生命化学科)」(月曜4-5限)について

履修を希望する学生は、Google Formから申請してください。

申請方法の詳細については、4/6(月)頃にUNIVERSAL PASSPORTから通知します。

(注)受講定員があり先着順となります。4/7(火)9時から申請を受け付けます。

副専攻について

福井大学工学部では、自身の主専攻に加え、本学の特色である「原子力安全工学」と「経営・技術革新工学」を体系的なカリキュラムで学ぶことができる副専攻を設置しています。所属する学科・コースの卒業要件に加え、副専攻の修了要件を満たした者には、副専攻修了証が学長名で発行され、学位記授与の際に渡されます。

興味のある方は、ぜひ目指してみてください。詳細は、オリエンテーションWebページの動画をご覧ください。

<https://www.eng.u-fukui.ac.jp/orientation/>

「副専攻について」参照

■ 原子力安全工学基礎コース (担当教員: 桑水流 教授)



■ 経営・技術革新工学コース (担当教員: 竹本 教授)



授業準備について

・LMSについて

福井大学が主として使用しているLMS(学習管理システム)は下記です。(2026.4時点)

- ・UNIVERSAL PASSPORT内「クラスプロフィール」
- ・Google Workspace

4/3の総合情報基盤センターガイダンスをよく聞き、資料を全て読んだ上で、4/9の授業開始までに各自で準備をお願いします。

→デモ授業用GoogleClassroom「大学生活の道標」確認

・学生証について

授業によっては出欠カードリーダーダシステムを利用しています。

4/7以降教務課にて配布しますので、必ず4/8までに取りにきてください。 注:カードリーダー読込は授業開始の10分前から！

授業が始まる前に確認すること！！

- 「共通教育」「専門教育科目」の履修登録を行うこと。
- UNIVERSAL PASSPORTのメール転送設定を必ず行うこと。
- 学生証を教務課まで取りに来ること(4/7火、4/8水)
- 1日1回はUNIVERSAL PASSPORTの掲示を確認すること。
- Google Classroom「大学生生活の道標2026」を確認すること。
- 講義室等配置図で場所を確認すること。
- 授業欠席等の連絡は自身で行うこと。
(教員の連絡先はシラバスに掲載あり。載っていない場合は教務課へ相談すること)
- 時間割表の最後のページにある「授業日程」を把握すること。
- 履修登録について分からないことがあれば教務課へ！

教務課の 連絡先

◆専門教育に関すること
教務(工学)担当

Tel:0776-27-8601(平日9:00-17:00)
Mail:kyoumu-eng@ml.u-fukui.ac.jp

◆共通教育に関すること
学務総務・共通教育担当

Tel:0776-27-8627(平日9:00-17:00)
Mail:kyoumu-kk@ml.u-fukui.ac.jp